

令和4年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	大和市草柳児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター草柳会館管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付添 父母等)	合計	1日平均	開館日数 (日)
草柳	113	3,046	837	276	4,272	13.9	308

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

	事業名	開催期間	参加者数
4	工作(ペットボトルのミニけん玉づくり)	4/19~4/26	39人
4・5	母の日プレゼント工作(ありがとうのハガキづくり)	4/27~5/8	46人
6	父の日プレゼント工作(スマホスタンドづくり)	6/12~6/19	71人
6・7	七夕の飾り作り	6/28~7/7	35人
7	安心安全こども映画会	7/20	13人
	夏休み工作(風鈴づくり)	7/21~7/30	37人
8	夏休み工作(くるくるレインボーづくり)	8/12~8/25	22人
	避難訓練(グリーンアップセンターと合同。運営側のみ)	8/25	
9	工作(ピエロ人形づくり)	9/10~9/20	15人
10	ハロウィン工作(かぼちゃのステンドグラスづくり)	10/1~10/7	29人
	児童館まつり(ヨーヨーつり・バルーンアート・作品展)	10/23	178人
11	工作(プラカップでスノードームづくり)	11/10~11/17	78人
12	クリスマス会(コロナ禍の影響により中止) ※代替事業としてお楽しみ抽選付クリスマスカードを配布	12/4	360人
	クリスマス工作(毛糸のクリスマスツリーづくり)	12/15~12/23	68人
1	千支工作(うさぎづくり)	1/13~1/20	35人
	ニューイヤーイベント(カプセル掴み)	1/24~1/29	135人
2	節分(豆まき)	2/3	5人
	避難訓練(グリーンアップセンターと合同)	2/22	5人
	おひなさま工作(おひなさまのハーバリウムづくり)	2/14~2/21	24人
3	工作(ストローキューブづくり)	3/4~3/23	38人

※コロナ禍の影響により、1年生歓迎会をはじめ、七夕の集い、卓球大会(2回)、クリスマス会は中止。

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,845,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,706,078
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	75,502
収入計(①)	2,845,000	支出計(②)	2,781,580

収支決算	63,420
------	--------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和5年2月から3月にかけて利用者アンケートを実施し、令和4年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・コロナ禍中の運営について、感染防止対策の徹底が継続されており、昨年度より多くの児童が放課後の居場所として利用してもらえる結果になったことについて、評価します。 ・昨年度と同様に、「児童館だより」と「じどうかんチラシ」を発行し、子ども会、草柳小学校を通じて児童館の利用促進を図るとともに、今年度は「じどうかんチラシ」になぞなぞを掲載することで、児童が目にとめやすい工夫を施すなど、幅広く事業を周知させ、サービス向上に取り組んでいる点を評価します。 ・利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
<p>評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 ・コロナ禍の影響により、中止となった事業もありますが、代替事業を実施するとともに、運営委員会が知恵を出し合い、工夫を凝らしながらできる範囲で児童館まつりを開催したことは高く評価します。 ・工作は利用者の関心や興味を引く内容を企画し、昨年度とは異なる内容とすることで、子どもたちが飽きず、創作意欲を向上させるよう努めるとともに、毎月開催することで児童館を継続的に利用する機会を創出している点について評価します。 ・子どもたちに人気の卓球については、時間制限を設けるとともに、消毒の徹底など、コロナ禍の中でもできる限り児童の要望に応える取り組みを評価します。
<p>評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。
<p>評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。